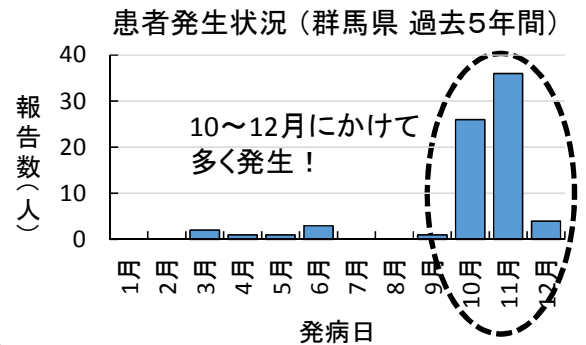


つつが虫病に注意しましょう!

～例年10～12月にかけて多く発生しています～

◆ どんな病気?

- つつが虫病リケッチアに感染したツツガムシの幼虫に刺されることで感染します。
- ツツガムシはダニの一種で、山林・河川敷などの草地・耕作地などに生息し、病原体を持っていることがあります。
- 主に秋～初冬、または春～初夏にかけて多くみられる感染症です。
- 過去に報告された推定感染地域は、主に吾妻地域や利根沼田地域で、高崎市など西毛地域からの報告もありました。



◆ 症状

- 主な症状は、発熱、発しんで、5～10mm大の刺し口が特徴です。刺されてから7～14日後に出現します。
- 全身倦怠感、食欲不振、頭痛、リンパ節腫脹などの症状を伴います。
- 刺し口は、足などツツガムシの付着しやすい所、胸部や腹部など皮膚が柔らかいところが多いです。



◆ 予防方法

農作業・森林作業など野外で長時間作業する時は、**ツツガムシに刺されないように注意しましょう。**

- 長袖・長ズボンを着用し、肌を露出しない。
- シャツの袖口を軍手や手袋に入れる。ズボンの裾を靴下に入れる。
- 草の上に腰をおろしたり、寝転んだりしない。
- 作業中に脱いだ上着やタオルなどを草の上に直接置かない。衣類にツツガムシが付着する可能性があります。
- 防虫スプレーを使用する。
- これらの場所に立ち入った後は入浴し、着替えをする。



刺し口



タテツツガムシ

出典:
厚生労働省
ホームページ



◆ 症状が出たら

早期治療が大切です。山林・田畑・川原などに立ち入ってから1～2週間後に、発熱や発しんなどの症状が現れた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。その際、これらの場所に立ち入ったことを医師に申し出てください。治療が遅れると重症化することがあります。

★ つつが虫病の詳しい情報(群馬県感染症情報): <http://www.pref.gunma.jp/02/p07110059.html>